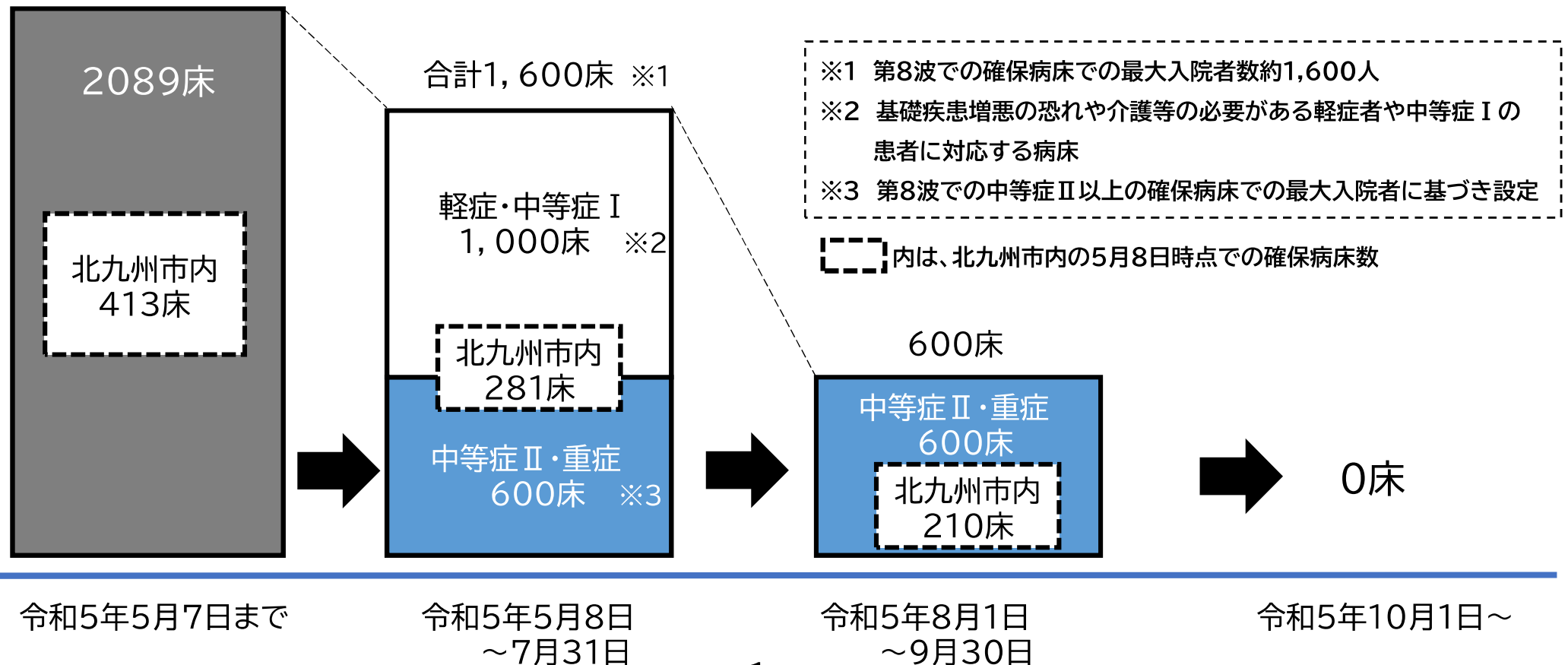


福岡県の移行計画

令和5年5月8日～9月30日までを「移行期間」として下図のとおり病床を確保。令和5年10月以降は確保病床はなし。

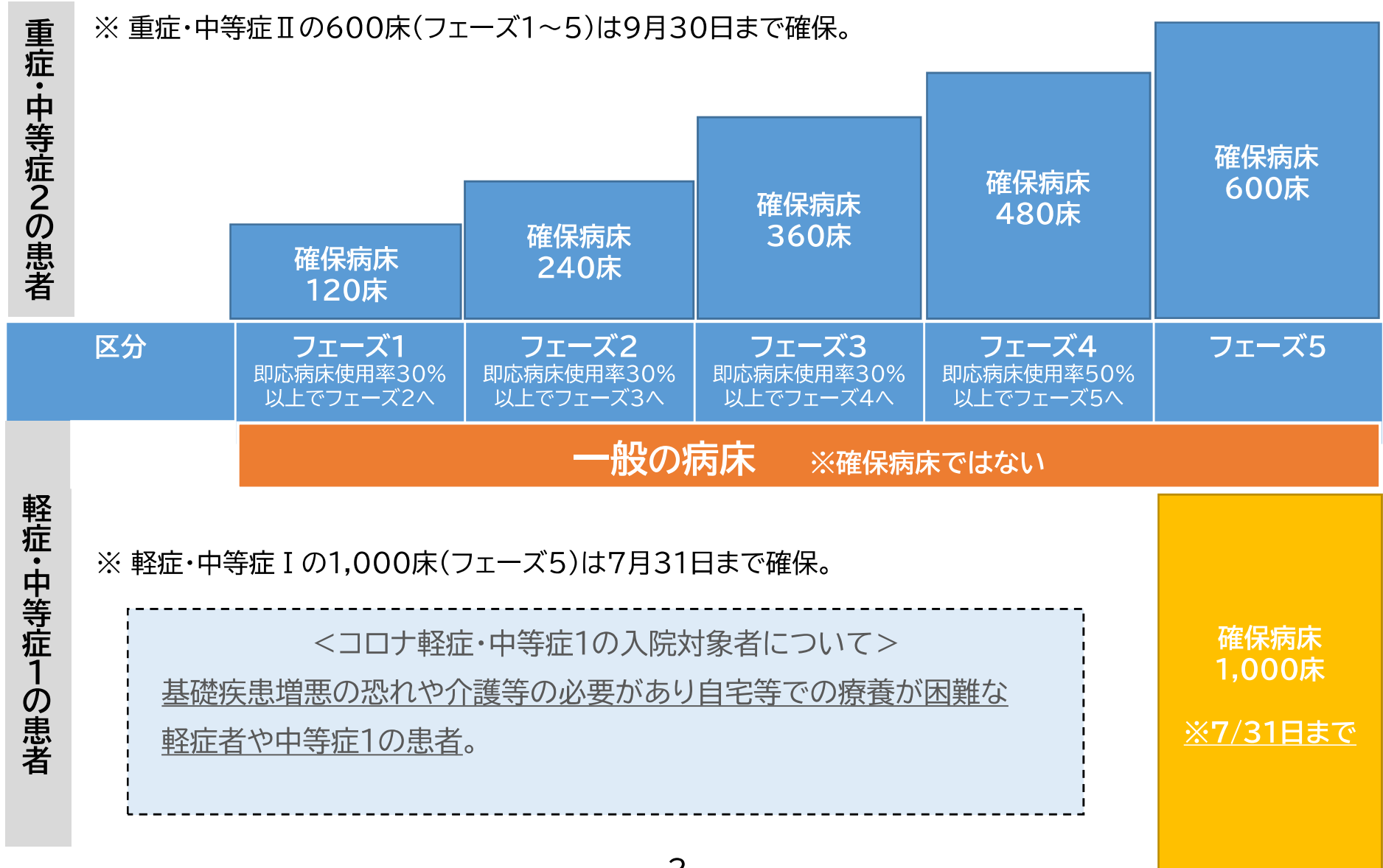
確保病床の考え方(5月8日以降)

- ① 現行の確保病床数を単純に継続するということではなく、直近のオミクロン株流行時の確保病床数での最大入院者数を踏まえ、実績ベースで必要数を精査。
- ② 今後、できる限り確保病床によらず、幅広い医療機関での受入れを進めることを考慮。



# 福岡県の移行計画

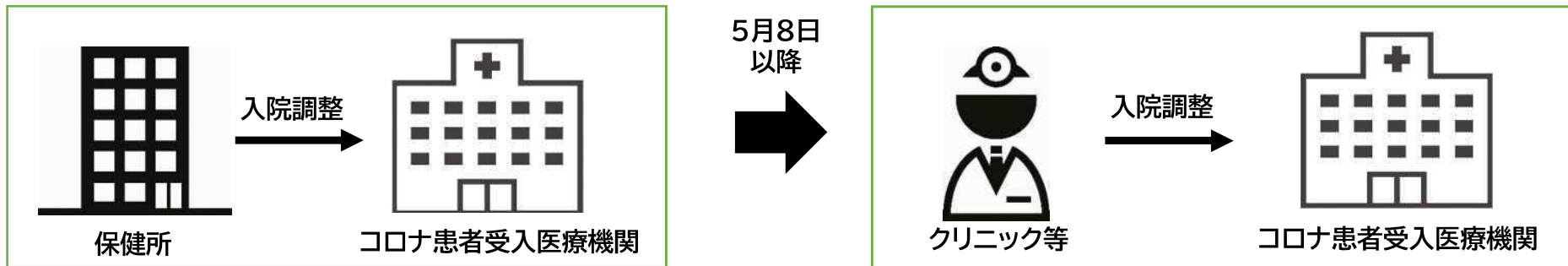
## 令和5年5月8日～9月30日 フェーズ毎の病床数について



## 入院調整の考え方(5月8日以降)

### ① 入院調整は原則、病診連携等に対応。

※ 感染拡大により医療がひっ迫した際に限り、必要に応じて、保健所が確保病床への入院調整を支援。



### ② 入院状況について、国のG-MIS(Gathering Medical Information System)や県独自システムを利用して、医療機関間で共有(入院状況の見える化)。

ジームス

## G-MISを活用した患者の入院調整について

- ・ 入院調整において、入院依頼を希望する医療機関と受け入れ医療機関で、空床情報を共有できる情報基盤。
- ・ 本システムによって受け入れ医療機関の空床情報を検索できることで、入院調整を効率的に行うことが可能。  
(※本システムはマッチング機能は備えておらず、最終調整は電話でのやり取りが必要)

